

2008 平成20年

ふいあい 放水路

12月号 vol.177

Izumo Office of River Chugoku Regional Development Bureau



特集 斐伊川放水路事業と 地域の農業との関係

神在月出雲全国そばまつり

10月31、11月1～2日に行われた神在月出雲全国そばまつりで、そば打ち体験道場が開催されました。参加者は、出雲産新そばでのそば打ち体験を楽しみました。

斐伊川放水路事業と地域の農業との関係

洪水により神戸川の堤防が壊れると、沿川の農作物にも大きな被害が出ます。出雲河川事務所では、沿川の安全性を向上させ、農業の振興への貢献も期待される斐伊川放水路事業を、沿川の農家の方々と様々な関わりを持ちながら進めています。今月号では、農業と斐伊川放水路事業との関わりや地域農家の取り組みを紹介します。

安全安心

農地を洪水から護る

昭和47年災害では、洪水は神戸川の堤防を越え、多くの田が水に浸かり、農作物に大きな被害を与えました。



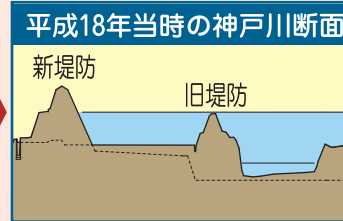
古志橋付近の神戸川
(出典：くにびきの川神戸川)



平成18年7月豪雨では、斐伊川放水路事業において新たに堤防を築造していたこともあり、堤防を越えて浸水する被害はありませんでした。



古志大橋下流付近の神戸川
(H18年7月19日撮影)

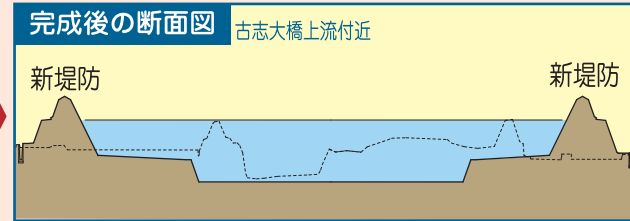


(H18年8月撮影)

現在河道の掘削工事が進行中
工事が完了すれば、神戸川の流下能力が向上し、洪水被害がさらに減少することが期待できます。



(H20年5月撮影)



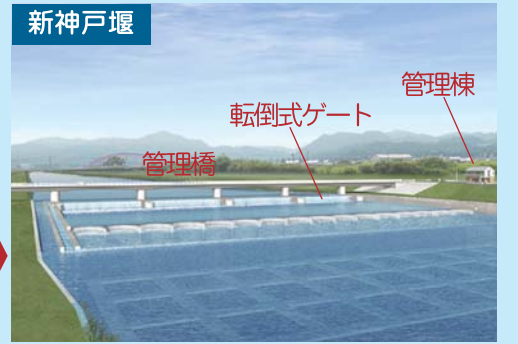
機能UP!

取水施設の機能性を向上

取水堰を固定堰から可動堰に改築しました。平常時には安定した取水量を確保でき、かつ洪水時には安全に洪水を流すことができます。



取水樋門を改築。電動式ローラーゲートで、維持管理の効率が良くなり、耐震性が高くなりました。



効率化

農地の利便性を向上

神戸川沿川の古志地区では、昭和62年頃から機械化等に適した基盤整備事業を望む動きがありました。しかし、再整備ということもあり、進展していませんでした。斐伊川放水路事業の動向をきっかけに、抜本的な土地改良事業の気運が高まり、平成5~9年にかけて幹線農道事業に併せ32haの田の区画整理、暗渠排水事業が行われました。(事業主体：出雲市土地改良区)



土地改良前 (昭和50年撮影)
(出典：国土地理院撮影の航空写真を複製)

出雲市初の用水パイプライン方式が採用されたんだ。



土地改良後 (平成18年撮影)

出雲育ちの「いずもそば」づくり

70日で収穫！そばの実ができるまで

種まき 8月12日
古志地区でのそばづくりを密着リポート！

耕した畑に種をまきます。

10日後
発芽し、本葉が出ていました。

20日後
高さ20cmまでに成長していました。

30日後
一面の白い花がとってもきれい！

50日後
花が枯れ、そばの実がつき始めていました。

70日後
しっかり実がついたら刈取ります。

平成15年から、全国的に有名な出雲そばを出雲原産のそば粉でつくろうという取り組みが始まりました。出雲市、JAの協力もあり、生産者、生産量は年々増加し、当初1地区12haだった作付け面積も現在では11地区78ha (H20年度) に拡大しています。

昔は出雲市内でも栽培されていたソバも、近年では減少し、出雲そばの原料はほとんどが輸入に頼っている状態だったの。

取材協力：出雲そば生産組合、JAいずも、古志そば同好会
参考文献：いずも農業協同組合創立10年誌 (出雲市農業協同組合)、出雲市の農業 (出雲市)

刈り取ったそばの実はどうなるの？



JAに搬入され、乾燥し、枝や葉などが取り除かれ、良質な実に分類されます。



玄そば

良質な実だけ市内のそば店や製粉所を中心に販売された後、製粉されそば粉になります。



そのそば粉を使って、そばを打ちます。出雲産そばの完成です！新そばは香りも高く絶品でした！

取材協力：出雲市土地改良区
参考文献：出雲市土地改良区40年誌、50年誌

河川管理のまめ知識

堤防の除草作業と刈り取った草のゆくえ？

～出雲河川事務所管轄区間の場合～

出雲河川事務所では、年に2回、堤防の状態を確認するために除草作業を行っているよ。



1. 除草



ラジコン式の機械もあるよ

専用の機械を使って効率よく刈取ります。刈った草は堤防上で2～3日天日干しをします。

2. 集草

専用機械で乾燥した草を集めます。



3. 梱包



集めた草を巻き取って圧縮し、梱包します。広い場所は、効率のよい大型機械を使います。



JR山陰本線が新線路に切替わりました
 十一月三十日(日)、JR山陰本線の新鉄橋への取付線路の工事が完了し、新しい鉄橋が開通しました。今後も旧橋の撤去を引き続き行いますが、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。



工事発注情報

- 斐伊川放水路A谷残土処理場整備外工事
H20.11.1～H21.3.31
山陰建設工業(株)
- 斐伊川放水路B谷残土処理場整備外工事
H20.11.14～H21.3.31
(株)別所組

4. 飼料等として有効利用



ぼくたちが食べているよ。



梱包した草は、地域の畜産農家に配布し、牛のエサ等として有効利用されています。

※訂正
前号4面の「河川管理の基礎知識」で、川での釣りは自分の責任で自由にとけるといった表現がありましたが、遊漁料が必要な場合もありますので地元漁協に問い合わせして下さい。



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829

E-mail: izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。 問い合わせ先: 放水路推進室 ふれあい放水路担当